

# 表情豊かなかかし 10体完成



## ふくろうふれ愛まつりの準備着々

毎年恒例の案山子作りが、8月25日(土)26日(日)に取りくまれました、新たに加入くださった方など10人の地域交流会がご協力くださいました。土曜日の骨組みにつづいて、26日(日)には、色とりどりの着物を着せ、可愛い、美人、男前と表情も豊かなかかしが10体できました。「無理」「手が痛い」等、理由をつけて椅子に座り見ていただけの方も、途中から興味がわい

たのか針と糸を持ち、夢中になり縫っていました。

男性入居者さんも上手で、びっくりしました。出来上がった案山子は、10月28日(日)のふくろうふれあい祭りの接待役として大切な役割を担います。地域の方々、暑い中、ご協力ありがとうございました。

(生活援助員 伊達美紀)

## 第13回ふくろうふれ愛まつり

テーマ 「ひとりひとりを大切にともに生きる」

～人生に学び、暮らしを創る～

ふくろうの郷最大イベント。みなさんが楽しめる祭りに・・・



日時 10月28日(日)  
10:00～15:00

場所 淡路ふくろうの郷  
中川原地域ふれあいセンター

入居者支援のボランティア募集中!  
ご協力お願いします。

**募集中**  
舞台発表 歌・劇  
マジックなど  
模擬店出店  
うどん・焼きそば・フランクフルト・チヂミなど

毎年恒例のふくろうふれ愛まつり。今年は「ひとりひとりを大切にともに生きる」をテーマに、淡路ふくろうの郷の日々の取り組みを紹介し、人生を締めくくる大切な場所として、入居者の人生に学び、暮らしを創っているか実践を発信します。

# ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷  
広報委員会

洲本市中川原町中川原 28 番地 1  
TEL: 0799-25-8550  
FAX: 0799-25-8551  
ホームページ

<http://hyoufuku.main.jp/fukurou/>

9月1日(土)神戸で公開講座が始まりました。講座の目的は、当法人の取り組みに関心を持っていただき、神戸の新たな拠点で働こうと思っていたり、受講してみたいという方は、神戸ろうあハウスに連絡を。

# ふくろう物語

## 紫野 正史さん

柴野正史さんは、昭和22年1月6日生まれ、71歳、淡路島の由良出身です。平成29年7月に自宅のベッドから転倒し、入院されました。リハビリと治療を行うも一人で暮らすのは難しく家族とも疎遠なため、平成30年1月15日にふくろうの郷へ入居されました。

### 料理人として活躍

洲本高校に通っていた頃は、部活の柔道で2段を取得。身長は今と変わらないが、体重は70キロほどあったそうです。

進路を決める際、手っ取り早いと考え、料理人になろうと決めました。フランス料理を海外で勉強することも考えましたが、親戚から人手が足りないと言われ、声を掛けられたため、寿司屋で働き出します。その後有馬温泉など数か所の店に声をかけてもらい、旅館などでも働きまし



▲料理講座で作った和菓子を食べ

られる柴野さん

(生活援助員 桑名ひとみ)

た。主に日本料理を中心に作っていたそうです。食事の味にはうるさいとよく話されていていました。ふくろうの郷の食事の評価は「まあ、こんなもんやな」だそうです。仕事の傍ら、よく外国へ遊びに行っておられた柴野さん。結婚はされておらず、自身を「フリーマー」と公言し海外の女性との付き合いを楽しまれたそうです。今でもその頃を「楽しかった」と話し、「もう悔いはない。いつ死んでもいい。後は甥に家を渡したらお終い」と言い切っておられます。

### これからの暮らし

ふくろうの郷では、ろう入居者と身振り手振りで伝えておられます。もどかしい気持ちもあるようですが、自ら他の入居者様に話しかけることができ、中途失聴の西内さんとは特に仲良くされています。

入院すると「早くふくろうに帰りたい」と話してくださいますが、刺激が少なく物足りなさも感じておられるようです。柴野さんが安心だけでなく楽しく暮らしていただけるように得意とする料理講座への参加を増やすなど工夫していきたいと改めて強く思いました。

## ふくろうの郷のお盆

8月13日のお盆入りの日に、「偲ぶ会」を行いました。去年8月から今年7月までに亡くなられた11名の故人を偲びました。

入居者は故人の写真の前にそれぞれ思い出をお話されました。お話を聞いて、思いを後世に引き継ぐ努力をしなければと思いました。

午後は、松栄寺のご住職のお計らいで、お墓参りに行き、皆様と共に手を合せ故人を想い、感謝させていただきました。



▲入居さんと松栄寺にて手を合せてきました

生活援助員 東原 裕己

8月1日、ふくろうの郷の玄関前で、すいか割りを行いました。「割りたい」とやる気満々の長谷川清さん。思い切り棒をふると、棒が割れてしまうというハプニング。みんな驚くとともに笑顔がこぼれました。

その後も順番にすいかわりを楽しまれ、「久しぶりにすいかを食べるから嬉しい」「おいしい。もう一つちょうだい」等の声とともに、夏の思い出の一つになりました。

## スイカわりをしたよ



「割りたい」と張り切る 長谷川さん

# 核の恐怖と平和を語る

## 淡路戦争展

8月12日、中川原ふれあいセンターを会場に開催された「第24回平和のための淡路戦争展」

今年は、ふくろうの郷で暮らしておられる山崎榮子さん(91歳)も招かれて、約70人を前にして長崎での被爆体験を話されました。

山崎さんは、長崎に原爆が投下された時のきのこ雲の写真をこぼして強く叩き、「恐ろしい原爆を三度落としてはならない」「戦争はしてはならない」「ろう者の私は長い間爆弾が原爆だということも知らされず、教えられなかった」などと語りました。



▲長崎原爆の写真を見ながら語る 山崎榮子さん(右から2番目)

15年前の2003年、第53回平和祈念式典に於いて、被爆者を代表して「平和への誓い」を述べられた映像も紹介されました。

山崎さんのあと、広島のみから軍人被爆者の救援に駆り出されたという青木透さんが「民間人なんかほったらかしだった」と体験を話されました。

山崎さんが長崎で平和の活動が続けられるように、今、長崎の仲間たちで高齢ろう者の暮らせる「生活施設」づくりの運動が進められています。(理事長 大矢 暹)

### ●入谷ふじゑさん(83歳)



誕生日はお寿司が食べたいと言われ、回転寿司へ。久しぶりのお寿司をととても喜ばれ、特にマグロが気に入ったようです。その後、昔よく歩いたという洲本のイオン周辺を散歩したり、ペットショップで大好きな猫を見たりと、楽しめました。(生活援助員 稲井 大嗣)

## HAPPY BIRTHDAY

### ●吉村治郎さん(81歳)



誕生日は「ビールが飲みたい」と話され、居酒屋へ。メニューを見て、なぜかハイボールを注文。「ビールは晩に飲むもんや。昼はハイボール」とのこと。大盛りの唐揚げを食べながら、お酒を飲み大満足の吉村さん。その後、コーナンでネジを手に取り、仕事でネジを作っていた頃のお話をしてくれました。とても喜んでいただけ、ご一緒した私にとっても嬉しい1日となりました。(生活援助員 中村 茂男)

## 西内千鶴子さんの里帰り

西内千鶴子さん(76歳)の希望を受け、8月22日〜23日、愛媛県松山市へ里帰りが実現しました。西内さんは「自分のお墓を確認したい」「叔母の石住さんに会いたい」とおっしゃっていたので



▲叔母の石住さんと握手を交わす西内さん(左)

石住さんと実際、お会いすると照れくさいのでしょうか、目もあわされず、お話される様子もみられません。石住さんのご自宅にもお邪魔しましたが、そこでも言葉少なめでした。石住さんが「この日のために1か月かかって準備

「もう一度話したい」と翌日、再び石住さんにお会いした時には、「すまんかった」と謝られ、石住さんの手を握って、涙を流されていきました。石住さんは優しい笑顔で、何度もうなずきながら、「本当に来てくれてありがとう。春か秋にまた会いましょうね」と話されていきました。最後には仲直りもでき、本当に「行ってよかった」と心からそう思えた里帰りと話されていました。

(生活支援員 中村 久香)

# 嚙下について・近年の異常気象を学ぶ

## 第3回 社会生活教室

淡路聴覚障害者  
センター便り

洲本市港 2-26  
洲本市健康福祉館3階



▲災害発生時に大切なことを説明する高塚氏

最近のニュースについて詳しく知りたい、「時事問題」について全国手

話研修センターの日本手話研究所より高塚稔氏をお迎えしてお話しいただきました。高塚氏は特に最近の日本の異常気象について焦点を絞り、内容をろう者にわかりやすいように、画像を使い、見て分かる工夫をしてくださった。と、参加者の感想で

(岡本 久子)

8月11日に開催した社会生活教室に16人が参加。ふくろうの郷の管理栄養士・秦奈津子さんと、言語聴覚士・齋藤奈奈さんに、嚙下と、食べ物が食べにくくなった時の工夫について

### ずっとおいしく食べよう

食べ物が通る食道と、空気を吸い込む気管の違いや、食べ物を飲み込んだ時の仕組みについて、図に示してわかりやすく教えていただきました。参加者には、実際に食材を刻んだものと、とろみを付けたものを試食して食べやすさを比べてもらいました。美味しく

食べられるためには歯も大切。普段から口の中を清潔にして、いくつになってもしっかり嚙んで美味しくいただきますよ。

(高木 恵理)

で、お話しいただきました。  
**食べ物の通り道と飲み込み**



▲自分で食べる、人に食べさせてもらうのとでは、味が違うそうです

### 通訳行ったらこんなことあるんです 通訳者『あるある』

今回は、『電話通訳について』です。ろう者より依頼があり代理で電話をすると、「本人確認が必要です。本人に代わってください」と言われます。本人はろう者なので電話できません、と伝えると、個人情報保護のためと取り合ってもらえず、「委任状を提出して」とか「後日、通訳者と一緒に来てください」といった返事ばかりです。無理やり声を出してもらい対応してもらったこともあります。健聴者だと電話で簡単に解決できることも書類郵送での対応とか時間がかかり、とても面倒です。障害者差別解消法で意的配慮が必要となっています。行政や企業での工夫や配慮を期待したいです。



### 日常生活用具の申請

『日常生活用具』には、屋内信号装置（フラッシュユライト等）・火災報知器・振動式時計・FAX等があります。申請については、障害部位や等級、世帯の状況によって申請はできません。センターにカタログや販売や等級、世帯の状況によって店の一覧がありますので、申



中川原高齢者・障がい者地域  
ふれあいセンター



☎656-0002  
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2  
TEL 0799-28-0990  
FAX 0799-28-0992

淡路障害者自立支援  
の集いの出店って

おのころ屋

8月22日(木)、「自立支援の集い」が南あわじ市立文化体育館で行われました。

おのころ屋から通所者と一緒にパン・クッキー・パウンドケーキの販売に行きました。中に入ると、たくさんのお店の方が準備を終えてるところで私たちも販売の準備を急いで始めました。

お昼を過ぎた頃、続々とお客様が来られ目が回る程でした。通所者は、お客様が来られると「いらつしやいませ」と元気良くあいさつをし手際よく注文されたパンを袋に入れて「ありがとうございます」と笑顔で

丁寧に対応してくれていました。



そして少しお客様が途切れた時間を利用して2人には管内を見て回ってもらいました。

2人は自分の気に入った品物を手に取り楽しそうに会話をしながらお買い物も楽しんでいました。後半は一段落したスタートの方たちがパンを購入してくれたので、ほとんどのパン・クッキー・パウンドケーキが売れました。今日一日を通して思った事は、「お客様一人一人に笑顔で、ていねいに対応してくれた姿がとても良かったです。(職業指導員 畑野正美)

第24回「平和のための淡路戦争展」

8月12日(日)、中川原地域ふれあいセンターで淡路教職員組合などで行われる実行委員会主催の「平和のための淡路戦争展」が開催されました。

会場には、原爆が投下された後に撮影された広島の写真や島内にあった軍事施設を記録したパネル、軍服や召集令状といった戦争を感じさせる実物資料等が展示さ



戦争展の様子

戦時時の異様な体験  
2度と繰り返さないで!

会場には約70人が訪れ、長崎県出身で、現在、洲本市にある淡路ふくろの郷に入居している山崎榮子さんの被爆体験や、徴用で広島にいた時に被爆した青木透さんの話を熱心に耳を傾けていました。

(橋詰 一則)

障害者雇用水増し(偽装)問題を徹底検証し、真の障害者雇用の前進を

(きょうされんニュースより抜粋)

8月17日以来、中央官庁での障害者雇用水増し(偽装)問題が連日報道されているが、障害のない職員を障害があるとみなす、あるいは新たな障害のある人は任用しないといった実態が次々明らかになり、当会としては憤りを禁じえない。

8月28日、本件に関する調査結果が公表されたことを受け、当会は現時点の声明を示すこととした。

- ① 失墜した行政への信頼
- ② 「制度の理解が不十分であり、意図的なものではない」は通用しない
- ③ 本件は行政による人権侵害である

きょうされんホームページ(声明・要望)以下、ご覧ください。

**神戸事業所** 安心して暮らせる  
福祉施設を!!

共同作業所 神戸ろうあハウス

神戸ろうあハウス デーサービセンター

〒652-0897 兵庫県神戸市兵庫区駒南通5-4 西高架下16号  
TEL & FAX ... 〇七八・五七九〇七五五

### 大好評だった 淡路の野菜販売



長田区細田神楽地域  
「ふれあい喫茶」で

神戸事業所の建設予定の地域で、毎月第4日曜日に「ふれあい喫茶」が続けられています。主催者のご理解を得て、淡路の野菜販売をしました。10時販売開始でしたが、9時過ぎには「野菜売ってんの?」とお客さんが次から次にきて、待ちきれずに売り始めました。「長ナスなんぼ?」「じゃがいもは?」と価格もその場でバタバタと決めて、あれよあれよと売れていきまし



▲たくさんの人と触れ合えた野菜販売

「また来月も売るのが?」「今度にはトマトがたくさんほしいわ」と声をかけていただいたり、「ピーマンはどうやって食べる?」と料理話に花がさきました。

初めての販売であり、時間や売り方など今後考えていくべきことがたくさんありました。また地域の方からも「会計は何か所がいいよ」「たまねぎは絶対売れるよ」「レシピとかあったらいいね」などアドバイスを頂き、次回からは工夫していきたいと思えます。

### 野菜販売を通じて 共に生きる社会を

長田区神楽町で新しく施設が建設された時に、私たちが実現したいことの一つに「二人一人を大切に共に生きる地域社会を目指す」ことがあります。月に1回の小さな活動を積み重ねることで、私たちを知ってもらい、実現していきたいと思えます。野菜販売も利用者が担えるようになってきたら楽しいだろうなと夢も膨らんだ一日でした。(野村洋子)

### 神戸施設建設をめざして

2018.8.27現在 募金合計額  
**48,502,232 円**  
(プレート募金 69人)  
目標 1億円まで、あと  
**51,497,768 円**

### 9月・10月 ふくろうの暮らし

- 9/12 (水) 兵通研淡路班入居者との交流会
- 9/15 (土) 地域交流会手話講座  
ふくろうの郷敬老会・家族の会
- 9/16 (日) 施設見学会対応
- 9/18 (火) 入居者懇談会・ふくろう大学絵手紙講座  
おのころ屋パン販売
- 9/19 (水) ふくろう喫茶
- 9/28 (金) ふくろう大学料理講座  
回想法
- 10/1 (月) ふくろう理髪店  
おのころ屋パン販売
- 10/9 (火) ふくろう大学書道講座
- 10/12 (金) ふくろう工房ちぎり絵
- 10/16 (火) ふくろうの郷自治会懇談会  
ふくろう大学絵手紙講座
- 10/28 (日) ふくろうふれ愛まつり



### ふくろうの郷見学・実習予定

- 9/16 長野県飯田手話サークル様 20名
- 10/3 稲美町民生・児童委員協議会  
生活・高齢者福祉専門部会様 20名
- 10/10 台湾桃園市政府社会局  
(台湾盲老人福祉施設連絡協議会)様 20名
- 10/13 加古川市中途失聴・難聴者協会様 15名
- 10/14 枚方市聴力障害者協会様 30名

### ふくろうの郷施設見学感想

・聞こえない方への環境づくりや職員、入居者が手話でのやりとりがスムーズに行われていて、入居者がいきいきとしているように感じました。  
・入居者から過去のつらい体験をお聞きし、本人から発せられる意見なので、一つ一つとても重みがあり考えさせられました。

(8/26 龍谷大学短期大学部社会福祉学科学生)